

ギリシャ概況(2026年1月号)

【経済】

日本がテッサロニキ国際見本市の名誉招待国に

関連報道リスト

1. <https://businessvoice.gr/life/931088/iaponia-timomeni-chora-sti-deth-2026/>
2. https://www.imerisia.gr/oikonomia/121895_i-iaponia-timomeni-hora-sti-deth-2026
3. <https://www.insider.gr/oikonomia/396315/i-iaponia-timomeni-hora-sti-diethni-ekthesi-thessalonikis-2...>
4. <https://www.newmoney.gr/roh/palmos-oikonomias/ellada/diethni-ekthesi-thessalonikis-i-iaponia-tha-in...>
5. <https://www.naftemporiki.gr/finance/economy/2062549/me-to-pnevma-toy-takumi-h-iaponia-timomeni-chor...>
6. <https://www.mononews.gr/oikonomia/i-iaponia-timomeni-chora-stin-deth-tou-2026>
7. <https://www.eleftherostypos.gr/ellada/thessaloniki-sto-pnevma-tis-filosofias-takumi-i-deth-2026-me-...>
8. <https://www.protothema.gr/greece/article/1761888/i-iaponia-timomeni-hora-sti-diethni-ekthesi-thessa...>
9. <https://www.capital.gr/oikonomia/3969722/i-iaponia-timomeni-xora-sti-fetini-deth/>
10. <https://www.sbctv.gr/2026/01/%CE%B9%CE%B1%CF%80%CF%89%CE%BD%CE%AF%CE%B1-%CF%84%CE%B9%CE%BC%CF%8E%CE...>
11. <https://parallaximag.gr/thessaloniki-news/kai-episima-i-iaponia-timomeni-chora-stin-90i-deth>
12. https://www.businessdaily.gr/oikonomia/182688_i-iaponia-timomeni-hora-sti-90i-diethni-ekthesi-thess...
13. <https://www.onlarissa.gr/2026/01/23/90i-deth-i-iaponia-timomeni-chora-stin-ekthesi/>
14. <https://www.politic.gr/thessaloniki/i-iaponia-os-timomeni-chora-sti-diethni-ekthesi-thessalonikis-2...>
15. <https://www.ekathimerini.com/politics/1293197/japan-named-guest-of-honor-at-thessaloniki-international-fair-2026/>

2025 年のギリシャにおける財政動向と経済見通し

2025 年のギリシャは、財政面で顕著な上振れ実績を示し、健全な財政運営と成長軌道を改めて印象づけた。

2025 年の一般政府の基礎的財政収支は GDP 比 4.5%の黒字となり、上方修正後の目標である 3.7%を大きく上回った。これは、高い経済成長率と脱税抑制策の強化によるものである。

経済成長率は 2024 年の 2.1%から 2025 年には 2.2%へ上昇し、2026 年には投資の大幅な拡大を背景に 2.4%に加速すると見込まれている。関連プロジェクトの実施が成長を下支えする見込み。

公的債務は 2025 年に GDP 比 145.9%へ低下し、2026 年には 138%前後まで縮小すると予想される。債務比率は 2029 年に 119%となり、10 年ぶりに 120%を下回る見通しである。今後の国際格付会社による評価では、財政収支、成長率、公的債務削減のペースが、ギリシャの信用格付け見通しを左右する主要な判断材料となる。

<https://www.amna.gr/mobile/article/961855/Fiscal-overperformance-in-2025--with-a-primary-surplus-exceeding-target-at-115-bln>

中国自動車ブランドのギリシャ市場における販売動向

ギリシャ統計局 (ELSTAT) が発表したデータによれば、奇瑞汽車 (Chery) は 2025 年 12 月の新車乗用車販売において市場シェア 3.7%で 8 位となり、プジョー (3.5%) を上回り、フォルクスワーゲン (4.6%) に次ぐ位置を占めた。2025 年通年では、中国ブランドの新車乗用車が 9,574 台販売され、これは同年に国内で初めて登録された新車乗用車全体の約 6.7%に相当する。現在、ギリシャの自動車市場には約 20 の中国ブランドが参入しており、その多くは同一グループに属している。なかでも東風汽車のドンフエン (Dongfeng)、吉利汽車 (Geely)、奇瑞汽車 (Chery) が最も活発に展開している。主要なギリシャの自動車輸入業者は、すでに中国ブランドの輸入および販売代理事業に参入している。

<https://www.ekathimerini.com/economy/1292600/chinese-evs-are-taking-hold-in-the-greek-market/>

【政治】

大規模な FIR 電波干渉により、航空機の離着陸が大幅制限

1 月 4 日午前、ギリシャ民間航空局 (YPA) は、アテネ飛行情報区 (FIR) 内のほぼすべての通信に影響を及ぼす、前例のない広範な無線周波数干渉が発生したと発表した。この障害により、ギリシャ領空は一時的に閉鎖され、離着陸が大幅に制限されたほか、全国の空港で深刻な遅延が生じた。同日午後には航空交通は徐々に回復した。

後日実施された専門家の調査によると、本件は通信機器の不調によって起きたノイズによるものとされ、サイバー攻撃や外部からの悪意ある干渉の証拠は見つかっていない。再発防止のため、関連機器の刷新などが推奨されている。

<https://www.ekathimerini.com/news/1291530/massive-fir-interference-limits-flight-takeoffs-arrivals/>

ベネズエラ情勢に関する首相発言、野党から批判

1月3日、ミツオタキス首相は、米軍による作戦およびニコラス・マドゥロ大統領の拘束を受け、ベネズエラにおける同政権の終焉は同国に新たな希望をもたらすとの見解を X 公式アカウントに投稿した。同投稿で首相は、平和的かつ民主的な政権移行を呼びかけ、ギリシャは EU および国連のパートナーと連携して取り組むと述べた。一方で、米国の行動の合法性については、現時点でコメントすべき時ではないとも表明した。野党は、ミツオタキス首相の投稿について、国連安保理非常任理事国を務めるギリシャとして相応しくない等批判している。

<https://www.amna.gr/en/article/960602/PM-Mitsotakis-comments-on-developments-in-Venezuela>

ギリシャ・エジプト・キプロス三国外相会合(カイロ)

1月18日、ギリシャのゲラペトリティス外相は、カイロでエジプトおよびキプロスの外相と三国外相会合を行い、2014年に確立された三国協力の強固さと戦略的重要性を改めて確認した。同外相は、この枠組みを、共通の歴史的背景、価値観、そして国連憲章および国連海洋法条約を含む国際法への共通のコミットメントに基づく、地域協力の模範であると位置付けた。三外相は、対立よりも外交を重視する姿勢を共有し、地中海地域を平和と安定の地域とする共通のビジョンを示した。

さらに、海上安全保障、特に紅海における航行の自由、不正規移民問題についても協議され、国連海洋法の重要性が強調された。ゲラペトリティス外相は、スーダンおよびサハラ以南のアフリカの一部地域における深刻な人道危機に強い懸念を表明した。

<https://www.mfa.gr/diloseis-ypourgou-exoterikon-giorgou-gerapetriti-meta-to-peras-tis-trimerous-synantisis-ypourgon-exoterikon-elladas-kyprou-aigyptou-kairo-18-01-2026/>

イスラエル国防相が訪問(2026年1月20日)

1月20日、イスラエルのイスラエル・カッツ国防相がアテネを訪問し、二国間国防大臣会合が実施された。

ギリシャは、イスラエルの防衛産業から最先端の兵器システムを調達するという戦略的選択を行っている。カッツ国防相の訪問直前には、ギリシャの多層的防空システム構想「アキレスの盾(Achilles' Shield)」の主要要素の調達につながる協定に向け、関係する軍事委員会間で正式協議が開始された。

この計画には、旧東側由来の OSA-AK および TOR M1(ソ連/ロシア設計の短距離防空システム)に代わる、イスラエル国有企業であるラファエル社の SPYDER(機動型短～中距離防空システム)、老朽化したホーク(HAWK)型システム(米国設計の中距離地对空ミサイル)に代わる、イスラエル・エアロスペース・インダストリーズ (IAI) 社の Barak MX(共通の指揮統制システムで管理されるミサイル・センサー群)、さらに対弾道ミサイル迎撃能力をもたらす、**ダビデスリング**(David's Sling)迎撃システムのスカイ・キャプチャー仕様が含まれる。